



たかずやの里通信

令和3年度 - 第1号 -

…発行日…
令和3年6月1日
…発行人…

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607
ホームページ
QRコード →



URL www.janis.or.jp/users/takazuya03/

令和3年度は・・・

令和3年度になっても、日本中が新型コロナ禍への対応に懸命です。

過日、政府が国民に対し、3密の回避に加え、「権利の制限」、「自由の制限」、そして「行動の制限」の3制限を要請しました。いつまで我慢の生活が続くのでしょうか。

5月5日の子どもの日に合わせて、各新聞が「子ども」に関する多くの記事を掲載していました。

国内の子どもの人口が1,493万人で、40年連続の減少。

児童養護施設や里親家庭で育った若者に対し、見守り・支える仕組みを構築すること等々、様々な問題を指摘していました。

コロナ時代に失ってはいけないもの、それは共感と思いやりです。

たかずやの里は、共感と思いやりをもって、「あたたかさとやすらぎ 心の成長 生きる力」を実現するために、職員一同、子どもたちと一緒に努力して行く所存です。

どうか、よろしく願いいたします。

社会福祉法人たかずや福祉会
理事長 伊藤 隆

「春を満喫」

4月10日に、旧たかずやの里があった「ふれあいの森」で、“春”を楽しみました。開花が早かった今年の桜やチューリップ、ヒヤシンスなどの花々が咲く中、思い切り駆けまわって遊びました。



ふれあいの森に咲く満開の花々



夏の始まり

5月5日は立夏である。たかずやの里ではジャガイモを植え、田植えを行った。

いずれも体験的なものだが大勢の子どもたちの作業はペチャクチャと賑やかなもの。田植えでは田を走り回り、泥にまみれる子がいる始末。

作業の合間に、ふと気付くことがあった。自然界の音だ。手作業だったので機械音は殆ど無く風音や鳥のさえずりが聞こえてきた。ジャガイモの時はヒバリ、田植えの時はカラスやウグイス等々。

鳥のさえずりを人の言葉に当てはめて覚えやすくしたものを「聞きなし」と言うが、昔の人々は農作業をしながら自然界の音を言葉に変換して楽しんでいたのではないかと思った。

ウグイスの“ホーホケキョ”は誰もが納得する。ヒバリは熊本民謡「おてもやん」の歌詞に“ピークパークひばりの子”とある。実際には言葉に表現できないほど忙しく賑やかなものだ。

泥にまみれる子どもの姿やヒバリのさえずりが肌寒さの中にも夏の到来を知らせているかもしれない。

施設長 菅 雄峰



たかずやの日々



5/4 じゃがいも植え

幼児さんも、シャベルを持って元気に畑に行きました。小学校1年生の男の子も勇ましくクワを持ったのですが、畝を作っているのか、崩しているのかわからないありさま。

メークイーンと男爵の2種類を植えました。

ほのぼのの★4才児！

ある日の食事中的こ

なにやらジーンと顔を
見つめてきます。



「コレ取って、
「ねえコレ取ってよ〜
と...コレは何??



しきりに訴えてくるけど
分かんず...よくよく
考えてみた結果



ホクホクのご
でした!!



5/8 川下り米 お田植え



おいしいお米ができるかな〜

施設紹介動画をご覧くださいませ。



QRコード ⇒

<https://takazuyanotosato.wixsite.com/recruit/施設紹介動画>

職員採用情報をご覧くださいませ。



QRコード ⇒

<https://takazuyanotosato.wixsite.com/recruit>

児童養護施設とは

施設では、さまざまな事情を抱えた家庭から、児童相談所等を通じてお子さんをお預かりしています。2歳ぐらいからおおむね18歳の子どもたちが、家庭に替わる子どもたちの家として、生活しています。児童相談所や学校と協力しながら、子どもたちの幸せと心豊かで健やかな発達を願いながら、自立を支援しています。